

2023年9月4日に日本部会主催により PIANC アジアセミナーを開催いたしました。

本セミナーは、新型コロナウイルスの感染の中、アジアの技術者をメインのターゲットとしつつ世界に開かれたオンラインセミナーを新たに開催したもので、今回の開催は3年目になります。今回は、世界各地の港湾とりわけアジアで課題となっている航路埋没問題をとりあげアジアの第一級の研究者・専門家による講演としました。

開催にあたっては、国土交通省、水産庁、国際協力機構より後援を頂き、約260名、15か国からの参加を得ることが出来ました。その内、約100名が海外からの参加となり（主な参加国：カンボジア、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ミャンマー）、国際的な情報発信として大きな成果を上げました。

セミナー実施内容

日時 9月4日（月）15:30～18:00

モデレーター （一財）沿岸技術研究センター
特別研究官 栗山 善昭



—開会挨拶

国土交通省大臣官房技術参事官 西村 拓

—PIANC 会長からのビデオメッセージ

PIANC 会長 フランシスコ・エステバン・レフラー



—港湾空港技術研究所 特別研究主幹 中川 康之

「日本における航路と河口域の浮泥計測について」

- ・浮泥による埋没の特性
- ・浮泥埋没の計測実施について（新潟港、熊本港）



—国立研究革新庁 主席研究官 (インドネシア)

アロイシウス・バギョー・ウィダグド

「インドネシアにおける港湾と河川の埋没について」

・インドネシアにおける、港湾、河口の航路埋没

ケース1 アサハン川の埋没と埋没シミュレーション

ケース2 ジェリティク川およびアクセス航路の埋没とシミュレーション

—運輸通信大学 准教授 グエン・ヴィエト・タン (ベトナム)

「ベトナム・メコン川デルタにおける航路のシルテーションについて」

・メコン川河口付近の形状変化

・新たな航路の埋没



—質疑応答

発表後、栗山モデレーターのもと、シルテーションを防止するための効果的な対策、・構造物の建設による対策の費用対効果、河川からの土砂流出量の長期的な変化についてなどのついで質疑応答があった。



—PIANC 海港委員会 WG 205 議長

渡部 要一 (北海道大学)

「PIANC 海港委員会 WG 205 活動報告：海底軟弱地盤上の防波堤の設計と建設について」

・WG 結成及び議長の役割についての紹介

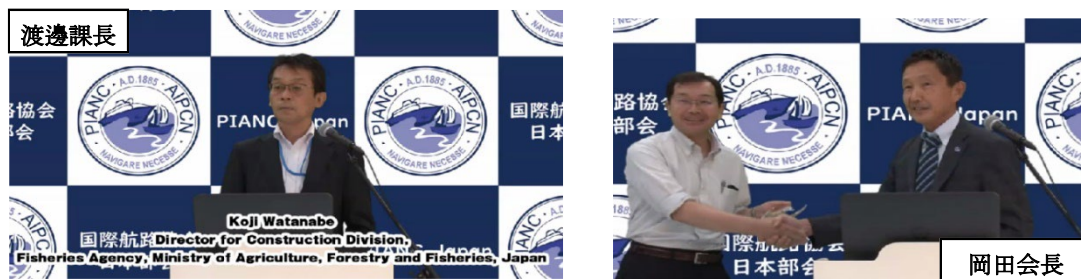
・WG における議論の内容についての紹介



一開会挨拶

水産庁漁港漁場整備部 整備課長 渡邊 浩二

セミナーの最後に、岡田会長より講師の方々に記念の盾を進呈いたしました。



企画準備について

本セミナーの実施にあたっては、港湾空港技術研究所特別研究主幹で PIANC の環境委員会の委員を務める中川康之氏に、貴重な講演をいただくと共に、セミナーの実施全般にわたり多くの貴重なご助言を頂きました。北海道大学渡部教授には、WG 運営について貴重な情報を頂きました。また、運営にあたり国土交通省、水産庁、港湾空港技術研究所、PIANC 日本部会の関係者の皆様に大変お世話になりました。来年も引き続き開催してまいります。

